

超音波

TELSONIC
ULTRASONICS
MADE IN SWITZERLAND

プラスチックウェルダー

熱可塑性樹脂素材の不織布・各種フィルムシートの切断と溶着が一度に可能

超音波 Cut'n' Seal

連続カット&シール

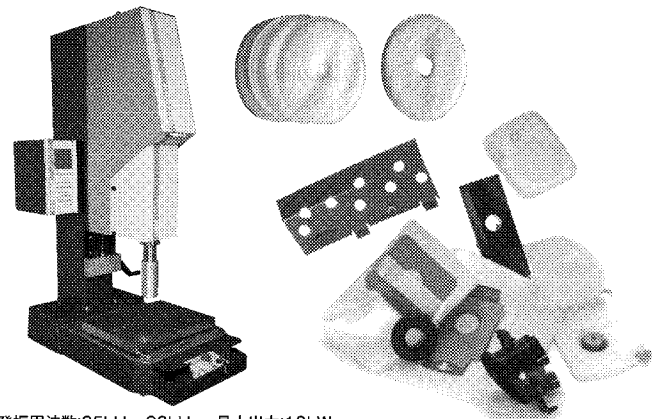
振動体(ホーン)、治具を固定し、加工物を移動させます。長尺もののフィルムやシートに適しています。回転式治具(表面に多種模様付可能)利用すると超音波マシンもできます。

ランジ式カット&シール

加工物を治具に固定し、振動体(ホーン)が下降します。不織フィルター、ベルト、織マークなどのカット&シールに適しています。

トラバース式カット&シール

加工物を治具に固定し、振動体(ホーン)が移動しながら、カット&シールを行います。円筒形のサイドシール、平面加工物のフロッティング加工ができます。



発振周波数:35kHz、20kHz 最大出力:10kW

超音波カット&シールの特長

1. ヒートカット方式での問題(ほつれ、やけ、こげ)を解決し、高度な熱管理は不要で加熱までのロスタイムはありません。
2. 切断面がスムーズで厚みが増えません。さらにソフトでヒート加熱切断時の溶融軟化樹脂状にならず、樹脂炭化による軟化もありません。
3. 間欠送り、寸動送り、長時間連続運転の対応が容易でどの位置からでもスタート・ストップができます。
4. 長時間運転で機械全体の温度・室内温度を上昇させることはありません。
5. 電源投入と同時にカット&シールができます。



ウルトラソニックス事業部

コタカ産業株式会社

〒550-0012 大阪市西区立売堀4丁目7番24号 TEL.06 (6534) 0038(代) FAX.06 (6535) 1438
E-mail: info@kodakasangyo.co.jp

不織布産業

山口産業

医療用カテーテルで知られる山口産業は、米ファイブリオ社製のナノファイバー製造装置を販売する。同装置は電界紡糸法を使った装置のように高電圧で大きな電位差をかけることなく絶縁する必要もないため安全。周囲の温度や湿度などの影響が少なく製造の安定化、量産化を実現する。

また、使用する溶剤が少量に抑えられ廃液も少ないことから生産コストや環境負荷の低減につながる。投入する材料は、有機・無機を問わずメルト方式および溶剤方式でも可能。

用途はリチウム電池のセパレーターや医療用精密フィルターの開発・製造など応用範囲が広く、新製品の開発には最適な装置である。

JNCC

JNCCの不織布は、融点の異なる2種類の樹脂を組合せた熱接着性「ES繊維」が特徴。接着剤を使用しない肌への安全性からおむつなどの衛生材料に用途が拡大、優れた品質と良好な加工性が高い評価を得ている。

製造は国内の「JNCCファイバース」(滋賀県守山市)をはじめ中国の「広州ES繊維」(広東省)、「智索無紡材料(常熟)」(江蘇省)、13年稼働予定の「ES Fibervisions」(Suzhou)、「(同)に加え、「JNCC Nonwovens(Thailand)」を拠点に事業拡大を目指す。さらに同社が開発したナノ繊維膜「Ella」や伸縮性の混織メルトブローン不織布「EllaFinno」も注目される。

市場ニーズに機能開発で応える

ダイワボウポリテック

ダイワボウポリテックは原料から不織布製造、最終製品まで一貫した生産体制を構築。スパンレースとニードルパンチの製造法をメインに、単体および複合技術による高付加価値製品の生産拡大を図る。製品化率30%超を達成している。

一方、12年11月には東南アジア諸国連合(ASEAN)戦略の一環として、インドネシアに生産子会社「ダイワボウ・ノンウィブン・インドネシア」を設立。香港での総合コスメ展「コスモプロフ2012」への出展計画などグローバル展開にも力を注ぐ。

今後も顧客ニーズや課題解決を念頭に技術開発を進め、総合不織布メーカーとしての存在を高めていく。

不織布情報

不織布情報は不織布の各種情報を掲載する月刊誌「不織布情報」を刊行する。毎月、バラエティーに富んだ特集を企画、そのほか国内外の展示会やニュースの紹介など、不織布産業の今を知る上で有用な情報を今後も掲載していく。

また、毎年1月に12・1月合併号として発売する「2012不織布年鑑」は、豊富なデータをもとに不織布にかかわる国内企業約470社を紹介。同時に世界の不織布メーカーリストや各種データ図表を収録した不織布ビジネスにおける実用書として好評だ。

同誌は創刊40周年を迎え、今後より一層、過去・現在・未来にわたり読者とともに不織布を語り伝えてゆく方針だ。